

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 8 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の実践に向けて話し合っている内容を全職員が共有できる記録が十分でない。	毎日のミーティング記録や職員会議録など勤務していない職員も共有できる。	ミーティング・会議録等は出勤したら必ず目を通し確認印を押す。	3ヶ月
2	4	運営推進会議において目標達成計画の項目が評価結果からみて少なく、参加メンバーからの意見がない。	運営推進会議でメンバーから意見が出やすくなる。	外務評価結果を報告し目標達成計画の内容を提示しメンバーから意見を頂く。	3ヶ月
3	10	家族からの意見に対し経過や結果を伝える仕組みができていない。	家族からの意見に対して協議・結果・報告した内容を他の家族にも伝達する。	①相談報告記録を作成し、家族からの要望や相談を職員間で協議し、内容や結果・報告までの経過を記録に残す。全職員が回覧し確認印を押す。 ②次回の推進会議でどのような要望があったかを他の家族にも伝達する。	3ヶ月
4	23	利用者の思いに関する記録が少ない。	日々関わりの中で気づいた利用者の思いや意向を聞き取り全職員で共有する。	日々の経過記録に気づいた利用者の思いや意向を書き出し、カンファレンス時その思いをその人らしい暮らしに近づけるために何か支援できないかを話し合う。	3ヶ月
5	33	意思確認書や終末期の指針が作成できておらず利用者・家族の意向把握ができていない。	入居者全員の終末期の意向確認ができる。	終末期の意向確認書に本人の意向を記入してもらう。また、のんびり館ができる終末期ケアの内容を理解してもらい今後の方向性を本人・ご家族で検討してもらう。	6ヶ月

6	35	災害時の飲料水の量が確保できていない。	災害時の食事・飲料水を確保する。	①災害用非常食・飲料水を入居者と職員分3日分を確保する。 ②防災訓練時には非常食・飲料水の消費期限を確認する。	6ヶ月
7	54	居室に備え付けのタンス・ベットがあり利用者に応じたなじみのものや好みのもが少なく居心地の良い居室になっていない。	入居者の居室がそれぞれその人らしい私物に囲まれた居心地のよい部屋になる。	家族に相談し入居者とともに家庭訪問するなどして自宅からなじみのある物・好みものを持ってきてもらう。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。